

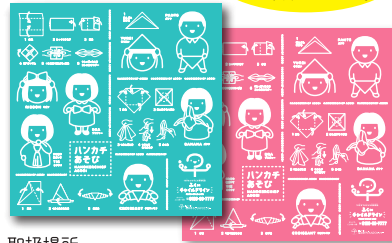
チャイルドライン 報告書



ふくいチャイルドラインでは1年の活動を報告書にしています。1年間の電話のデータを分析したもの、受け手の研修などが掲載されています。報告書では今の子どもの状況を知ることができます。ご希望の方は子どもNPOセンターまでお問合せください。(1冊500円)

あそべるおっきなハンカチ

1枚 1,000円
ハンカチ代の一部は、ふくいチャイルドラインに寄付されます。



取扱場所
◎福井市総合ボランティアセンター(ハビリン4階)
◎さばえNPOサポート(鯖江市)
◎Vivan(勝山市) ◎つちカフェ(勝山市)
◎勝山市民文化センター(勝山市)
◎子どもNPOセンター事務所

保育園、幼稚園、児童クラブ、地域のお祭り、ご自宅などで、子どもNPOセンターの「手作り遊び」を使ってみませんか？

- ◎スマートボール
- ◎巨大ジェンガ
- ◎空き缶つりぼり
- ◎血まわし など
- ◎カウボーイ輪投げ
- ◎千本引き
- ◎巨大だるまおとし
- お気軽にお問合せください。



認定NPO法人 福井県子どもNPOセンターにご支援ください

子どもNPOセンターは、国際条約でもある「子どもの権利条約」に沿って子どもの最善の利益を考えて日々の活動をつないでいます。

A. 賛助会員

子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動を支援する会員。

- 個人 一口年額 / 5,000円
- 団体(法人) 一口年額 / 10,000円

B. ボランティア会員

子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動にボランティアとして協力・参加する個人。

- 個人 一口年額 / 1,000円

C. 一般寄付も受け付けています

- 郵便振替での寄付

- オンラインでの寄付



HPから簡単に子どもNPOセンターに寄付ができます。ソフトバンクが提供する「つながる募金」の寄付サービスを利用開始しました。ぜひともご支援を宜しくお願い致します。

入会方法

郵便振替の通信欄に、
①住所 ②氏名 ③電話番号
④会員の種類(左記ABCいずれか)
⑤口数 を記入してお振込みください。

郵便振替

00770-1-45546
福井県子どもNPOセンター

つながる募金でのご支援はコチラから



◎税制上の優遇措置について

「認定特定非営利活動法人」へのご寄付や、正会員以外の年会費等は、下記のような税制上の優遇措置(寄附金控除)が受けられます。ぜひご利用ください。

①個人のご寄付

【所得税】(寄付金の合計額 - 2,000円) × 40% が税額控除されます。【上限: 所得税額の25%】
【住民税】自治体によって異なります。お住まいの自治体にお問い合わせください。
【相続税】相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に寄付した場合、寄付をした財産には相続税が課税されません。

②法人のご寄付(法人税)

一般寄付金の損金算入限度額とは別に、損金算入することができます。詳細については、最寄りの税務署にお問い合わせください。また、国税庁のウェブサイトでも手続きの詳細が掲載されています。

支援企業

- 有限会社アドヴァンス近信(福井市)
- 春日装備株式会社(福井市)
- 池田歯科医院(勝山市)
- 上屋敷工業株式会社(福井市)
- 有限会社演劇人冒険舎(名古屋)
- カフェリビングsu_mu(福井市)
- 岡山部品株式会社(福井市)
- 有限会社桑原産業グループ(鯖江市)
- 大月産婦人科クリニック(福井市)
- さわやか矯正歯科クリニック(福井市)
- 育ちのクリニック津田(福井市)
- 第一防災株式会社(福井市)
- たかさわ内科クリニック(福井市)
- 千歳工業株式会社(福井市)
- つちだ小児科(坂井市)
- 人形劇団とんと(越前市)
- 医療法人野尻医院(越前市)
- ノーム自然環境教育事務所(大野市)
- 光タクシー有限会社(福井市)
- Vivan(勝山市)
- 本定医院(福井市)
- 医療法人まきレディースクリニック(福井市)
- ますも証券株式会社(福井市)
- 益茂ビル(福井市)
- 森のアトリエ(福井市)
- やしろ歯科クリニック(福井市)
- 医療法人和み会山内整形外科(福井市)
- 六感デザイン(福井市)

Hop on Hop off

子どもを有名私立に入学させた京都の知人の話。志望校の校門前で合格したような顔でパチリ。その写真を目にするところに貼りまくる。それを我が子3人に実践。シュッと音をたてて何とか滑り込んでいった。キチンと思い描くと形になるのだと思った事件。(Aya)



ホームページ

記事、情報に関するお問い合わせは福井県子どもNPOセンターまで

認定NPO法人
福井県子どもNPOセンター

〒918-8106 福井市木田町36-1 コーポ木田201号
TEL.0776-97-8460 FAX.0776-97-8461
E-mail childnpo@muse.ocn.ne.jp
URL http://childnpo.com

見てね！

企画・編集 / 福井県子どもNPOセンター デザイン / 六感デザイン



Take Free [無料]

「今」を生きる子どもたちと、かつて子どもだった大人たちをつなぐ情報誌。

バックナンバーはこちらから



こども Channel

チャンネル

2021
68号

発行: 認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター URL: <http://childnpo.com>

子どもと文化企画事業
福井市児童クラブ連絡協議会
ふれあい事業にて演劇作品紹介

人形劇

オズのまほうつかい

～人形劇団むすび座～

現地レポート

「異世界への旅」

あなたは行ったことがあるでしょうか？
欲しいものが手に入る、かの有名な「オズの国」
私たちはつい先日、行ってきました。
今日は、オズの国で起こった数々の奇跡をお話しましょう。

この物語は人形を使って上演されており、観ている私たちは音や光の演出によりどんどん不思議な世界に引き込まれていくことになります。自分で本を読むよりも、誰かに読み聞かせてもらうよりも、映画やテレビの画面で観るよりも遙かに臨場感があふれるハラハラドキドキが止まらないというオプションが演劇にはあります。そして次のような不思議な感覚が起こるのです。
まず、ある瞬間から人形に魂が宿ります。黒い服を着た劇団員の方が人形を操作しているのですが、いつのまにか劇団員の姿は目に入らなくなります。まるで人形がひとりで動いているように見えてきます。やがてお話が佳境に差し掛かると、自分も人形たちと一緒に山道があるいたり、鳥におそわれたり、全速力で走っているような心拍の変動が起こります。悪者に囚われた時なんて、もうここから帰れないんじゃないか…という不安さえ湧いてきます。心配で思わず涙がこぼれちゃう子もいたくらいです。

私たちが演劇鑑賞の機会を作り続ける理由は、ここにあります。生の舞台は、練習に練習を重ねた劇団員のみなさんの命がけの技の連続です。私たちはそれを全身に浴びることができ、心も

コロナにより昨年は中止となった、福井市児童クラブ連絡協議会の演劇鑑賞会。こんな時だからこそ子どもたちに演劇を見せたいと、今年は感染対策を徹底した上で開催されました。福井県子どもNPOセンターでは、たくさんのことを我慢しながら過ごしてきた子どもたちに非日常の世界で心を動かし、楽しんで欲しいとの思いから人形劇『オズのまほうつかい』～人形劇団むすび座～を紹介しました。

8月3日(火)・4日(水) 福井市木ごころ文化ホール
主催: 福井市児童クラブ連絡協議会 後援: 福井市教育委員会

体も異空間へ旅することができます。目の前で繰り上げられる歌も、躍動も、景色も、すべてがたった一度の奇跡と言えます。
「あなたの欲しいものは何ですか？」
オズの国を目指す仲間にはそれぞれ、どうしても欲しいものがあります。「みんなみたいに賢くなれる脳みそ、みんなみたいに優しくなれる心、みんなみたいに怖いものにも立ち向かえる勇気」そう、全員が「みんなみたいになれること」を望んでいます。
オズの仲間たちだけではありません。もしかしたら、私たちの周りにいる子ども達もまた、「自分には何か足りない」と思いながら生きているのではないのでしょうか？テストの点数や習い事の上達度、友達の数。言葉に出さなくても「自分はみんなより…」と心を痛めているかもしれません。そんな気持ちになっている子に伝えたい言葉があります。「できない事があるっていうのは、願いが叶う道への入口」そして「あなたもちゃんと、持っているのです。みんなと同じように、もうすでに持っているのですよ。ただ、他のみんなとちょっと違う形をしているだけなのです」この言葉はオズの国からの土産です。どうかこれを読んでいるあなたの心の中に飾ってみてください。(島田妙子)





表現ひろば

講演会&ワークショップ

『子どもに演劇を』 ～演劇が子どもの 成長にどう影響するか～

コミュニケーション力、主体性、伝導力などの非認知能力を高めることは子どもの成長の過程でとても大事なことのひとつです。非認知能力を高めるために演劇を取り入れる活動が増えている昨今、自らの演劇経験を活かして子どもと演劇に関わる活動をされている渡邊享介氏をお迎えし、なぜ演劇が子どもに良いのか、子どもにどう影響を与えるのかをお話いただきます。またワークショップでは実際に子どもの活動に演劇をどのように取り入れていくのかを参加者に体験していただきます。子どもに関わる仕事をされている方、子育て中の方、演劇関係者ほか“子どもと演劇の関わり”に興味がある方はぜひご参加ください。

※感染対策を徹底した上で開催します。

講演会&ワークショップ(両方参加必須)

■とき:11月28日(日)
9:30～15:00 講演会&ワークショップ
■講師:渡邊 享介氏(子ども劇団ホーリーゴースト代表)
■会場:福井市きらら館会議室3.4 ■参加費:3,000円

予告

ごっこランド

ごっこランドはシアターゲームや劇あそび、ごっこあそびなどを通して、表現することを楽しむ活動です。今年も木田児童クラブ・第2木田児童クラブで年間通しての活動が始まりました。ジェスチャーゲームでは、どうやって相手に伝えたらよいか動けずひたすら考えこむ子や、なんとか伝えようとどンドン動きが大きくなる子、それぞれです。またその表現を見ている子は、いったい相手が何を伝えようとしているのか前のめりになって真剣に答えを探していました。こうして表現力や想像力が引き出され、コミュニケーション力を高めていくことがこの活動のねらいですが、子どもたちには、それぞれのペースで表現することや人と関わることの面白さを味わい、楽しんでほしいです。

報告

大人が 学びあう講座 2021

今年度は『子どもの声を聴く』をテーマに、オンラインと会場開催のハイブリット形式で行います。“やりすぎ教育”の著者である武田信子氏(一般社団法人ジェイス代表理事・臨床心理士)には、見通しの持てない社会や子どもの将来への不安などから生まれる「不適切な養育・教育」についてお話しいただく予定です。長年に渡り子どもたちの生の声を聴く活動を行っている原京子氏(こどもフォーラム代表・一般社団法人子どもアドボカシーセンターNAGOYA理事)には、近年日本でも注目を集める「アドボケイト」について、その必要性や事例等を簡単なワークショップもまじえながらお話しいただきます。

大人の価値観で子どもの幸せをはかりがちな昨今。目の前にいる子どもの「イマ」「望むこと」にもう一度目を向け、耳を傾けてみませんか。 ※コロナ感染状況によっては開催方法を変更する場合があります。



『やりすぎ教育』
ポブラ新書

予告

■とき:12月12日(日) 10:00～12:00
■講師:武田 信子氏
(一般社団法人ジェイス代表理事臨床心理士)
■会場:福井県社会福祉センター4階研修室+Zoom ■参加費:1,500円

■とき:1月23日(日) 10:00～12:00
■講師:原 京子氏(こどもフォーラム代表・
一般社団法人子どもアドボカシーセンターNAGOYA理事)
■会場:福井県社会福祉センター4階研修室+Zoom ■参加費:1,500円

報告

ふくいチャイルドライン 受け手ボランティア養成講座

三谷市民文化振興財団助成事業

2021年度チャイルドライン養成講座並びに公開講座を開催しました。今回初めて、オンラインと会場をつなぐハイブリット式に挑戦。21名の養成講座受講者を含めて延べ95名の参加者を迎え、今の子どもたちについて一緒に学びました。講演の中で各講師の方々に共通していたことは、子どもへの理解や関心、居場所作り、子どもが子どもらしくあるために大人はどう考え何をすべきなのか、ということでした。不登校や性マイノリティ、虐待や貧困など子どもたちを取り巻く環境は日々変化していきます。そんな中で、周りにいる大人たちの考え方やかかわり方を変えていくことこそが、子どもたちの健やかな成長「子どもが子どもらしくいられる」ことにつながっていくということを共有することができました。

「一緒に立ち止まって、寄り添いながら、ともに考える。」というチャイルドラインの基本姿勢そのものが、子どもたちの「いま」そして「未来」につながっていくという理念のもと、子どもの声を聴き、一緒に考える仲間が一人でも増えていくことを願っています。(ふくいチャイルドライン室長 岡田 伊佐央)

とき:9月5日(日)・12日(日) 10時～17時
会場:福井県社会福祉センター4階研修室+Zoom
受け手登録者:20名

18才までの
子ども専用電話
毎日 午後4時～9時
☎0120-
99-7777



9月5日(日)

10:00～12:00 《公開講座》『子どもが子どもでいられる社会を～子どもが自己を育てていくために私たちができること～』
講師:片岡 洋子氏(千葉大学名誉教授 教育科学研究会「教育」編集長)

13:00～15:00 『チャイルドラインの歴史と役割』
講師:高橋 弘恵氏(NPO法人チャイルドラインあいち専務理事)

15:00～17:00 『福井の子どもたちに寄り添うためには～LINE相談つぶやきルームと子どもの居場所から見えるもの～』
講師:須磨 航氏(みんなの居場所「withふくい」代表)

9月12日(日)

10:00～12:00 《公開講座》
『自由に過ごすことをあきらめない! ボクがボクであるために!』
～子どもたちに豊かな「子ども時代」を!
「子どもの権利条約」について一緒に学びましょう～
講師:大屋 寿朗氏(NPO法人Art.31代表)

13:00～15:00 『聴く力は愛する力』
講師:向井 清和氏(教育カウンセラー)

15:00～17:00 『ふくいチャイルドラインについて』
講師:谷内 由美子(福井県子どもNPOセンター理事長)
岡田 伊佐央(ふくいチャイルドライン室長)

報告

子どもたちに チャイルドラインカードを届けました

北陸労働金庫
NPO助成金事業

福井県内の小学生から高校生までの子ども達へ、約9万枚のチャイルドラインのカードを届けました。また、2020年度ふくいチャイルドラインの実施状況と活動をまとめた報告書を学校や公民館などに配りました。チャイルドラインは子どもの最善の利益を求め、子どもの声を聴き、自分で考え解決していく力を尊重する場であることを大人の皆さんに知っていただけたらと思います。さらに、ポスターの掲示を依頼しチャイルドラインの周知をしました。カードを手にしても、指と気持ちが止まってしまう子どもに「かけてみてはどう?」と声を掛けることができる大人を増やしていきます。

“大人が安心して子どもに
勧め、子どもが安心して利用
できるチャイルドライン”
となるように、私達は
今後も丁寧に周知と活動
を行っています。



報告

子どもと文化の 素敵な出会いをプロデュース

子どもと文化企画事業
鯖江市小学校公演紹介

劇団 風の子『スクラム☆ガッシン』

2021年5月31日(月)～9月22日(水) 全27公演

昨年コロナ禍で中止になった鯖江市小学校鑑賞教室が今年度再開されました。友だちとの間隔を空け感染対策を徹底した体育館での公演でしたが、子どもたちは久しぶりにみんなと一緒に劇を観てとても楽しそうでした。

